

「オラッわかってんのか
デメエらが任務中にミス
したおかげで俺の手は
全治8ヶ月の重症を
負ったんだぞ!」

「も...申し訳ありませんわ」

「俺だって好きでこんな事
やらせてる訳じゃねえ
からな!...ただ...」

「わかっていきますわ
自分でおちんぽを
シコシコ出来なく
させてしまったのは
私達のせいです
治るまでは遠慮なく
私をお使い下さいまし」

ぽく♡

くくく！千ヨロいぜ
八百万!!確かにこいつらの
ミスが原因とはいえ
まさか本当にフェラまで
してくれるとはよ

(さてじゃあ
コイツにもご奉仕
してもらうか)

「八百万はミスを
認めてこんなにし
てくれてんのに
お前は何にもなしか？」

もぐもぐ

もぐ

レロレロ

「うっ…
わかったよ
やれればいいんだよ
やれればいいんだよ」

あむっ♡

「はじめっから
そうしとけ！
この貧乳まんこが！」



「おおっ…乗り気じゃ
なかったくせに上手い
じゃないか耳郎!
流石は数学の成績
微妙だった時フェラで
成績あげた女は違うぜ」

「なっなんでそれを」

「噂程度で確証はなかったけど
やっぱいそうだったのか」

「ツ…クソ野郎」

バ
バ
バ
バ
バ

「八百万! お前も
耳郎を見習え!」

「うう...ううですか?」

じゅる、
るる、
るる、
るる、

「うっおおおお...
さすが成績1位
飲み込みがはええ」

「おちんほ気持ちいい
ですか？わたくしの
ほかほかおまんこで
沢山気持ち良くなって
下さいまし♥」

「そんなに
頑張らなくても
この童貞ちゃんほ
すぐザーメンこく
と思うよ♥」

「クソッ……うっ
ちんぽしゃぶる」
「しか能のない
貧乳ビッチが……」

♡
べろん♡
♡
べろん♡

ジュポ
ジュポ

くま

ザ・ユウ・ウ・ウ・ウ・ウ

ベロベロ

「あはっ♥童貞ちゃんぽが
なに射精我慢してんの？
いつもはティッツシュ相手に
数秒でびゅくびゅく
くっさいザーメン出す
くせに♥」

くま

じゅるるる

「んおっ♡口の中で
また硬くなってるよ
金玉むくむくせりあがって
じゅぶお...いいですわよ♡
私の口を便器だと思って
お小水するみたいにな
溜まってるもの全部お出してください♡」

グッ
グッ
グッ

はな
はな
はな

ぽん
ぽん
ぽん

「ほらほらっ
イっちゃえよ♡
ちんぽ気持ちいいんだろ
ちんぽイけ♡イけ♡
ちんぽイけ♡」

「っっ」



「この程度で射精
しちゃうんだ♥
どうせ手が治ってら
独り寂しくシコシコ
しなきゃいけないん
だろうし」
「それまでウチが
抜いてやるよ♥」

ぽろぽろ

べろべろ

「ふふ♥ザーメン
沢山でてますね♥
これから手が治るま
の間言っ頂ければ
毎日ご奉仕させて
いただきますわ♥」